

1974年(昭和49年)7月7日 七夕豪雨 森町三倉川

写真提供：森町役場



現在の様子

七夕豪雨は、静岡県下に被害を与え、森町大河内地内で478ミリ、三倉地内で394ミリの雨量。

被害の規模は死傷者14名、推定被害総額は47億円(冊子森町いまとむかしより抜粋)

全壊1戸、半壊2戸、流失9戸、床上浸水217戸、床下浸水494戸、冠水田畑35.47ha、決壊道路49箇所、橋梁8箇所、堤防8箇所、山崩れ86箇所(静岡県ホームページより抜粋)

昨年の台風15号でも、森町は太田川ダム管理所で累積雨量384ミリを観測するなど記録的な豪雨となりました。各地で土砂崩れや堤防の決壊、家屋の浸水など、七夕豪雨以来の甚大な被害をもたらしました。右の台風15号被害写真も、上の七夕豪雨の写真と近い場所にあります。

現在は大型土のうを積んで応急復旧し、片側通行となっており、正式な災害復旧工事はこれから始まります。

写真提供：正光建設(株)

2022年台風15号の被害



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

※ご応募いただく際お預かりする個人情報、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!



特集 ズームアップインタビュー

静岡理科大学 理工学部土木工学科

松本 健作 学科長

2022年度に静岡県内大学で唯一の土木工学科がスタート、10月末には土木工学科棟「あーすつりー」が完成した。南海トラフ地震への備えや頻発する豪雨災害など防災・減災対策を果たす重要な役割を担う。地域の企業・行政と連携した土木工学科の取り組みや教育方針、人づくりなどについて聞いた。



【学科長 略歴】

1998年 熊本大学大学院自然科学研究科博士(後期)過程単位取得退学
1998年 群馬大学工学部助手(建設工学科)
2005年 群馬大学大学院助教(社会環境デザイン工学専攻)
2021年 静岡理科大学土木工学科設置準備室教授

【静岡理科大学 学科メモ】

学 科 名 理工学部 土木工学科
入 学 定 員 50名
収 容 定 員 200名(各学年50名×4学年)
専 任 教 員 8名
設 置 時 期 2022年4月
施 設・設 備 「あーすつりー」(愛称)、作業室、プレゼンスペース、アクティブラーニングスペース、大教室、普通教室、ラウンジ、ゼミ室、教員室、会議室など

はじめに学科長就任に当たっての抱負をお願いします

大学 日々、様々なところから熱い期待を感じています。当初からの目的である、地域の行政や企業などに優秀な人材を輩出していくという、責任の重大さを身をもって感じていきます。地域企業の技術者と大学が情報を共有することで、優秀な人材が輩出できると思います。

土木工学科の概要などについて教えてください

大学 スタッフの手厚いサポートもあり、4月に入学した第1期生31人は、誰一人欠けることなく、学業に邁進しています。学生同士もとても仲が良いです。学科の特徴として「静岡県のリアルな防災・減災対策」や「フィールドワークを通して学ぶプロジェクト科目の開講」に力を入れています。フィールドワークについては、第1期生がすでに6〜7回実施しています。実際の現場に足を運び、学ぶ機会を増やしており、これだけ現場を訪れる大学は全国的にも非常に珍しいです。土木工学を学ぶうえでの恵まれた地形が多くある静岡県というフィールドや本学科を応援していただいている地域の企業の方々には、日々、感謝をしています。現場訪問は1〜3学年で継続的に行う計画です。学年を重ねることで水理学や土質力学などの専門知識が身に付きます。現場の技術者が「どのような課題に直面し、それをどうクリアしているのか」を学んでもらうのが、次のステージだと捉えています。

3年次では、研究室に所属した段階で改めて現場をみてもらいます。これまでの自分自身の成長を、学生に肌で感じてもらいたいからです。このような取り組みには、地元企業の協力がなければ実現できません。今後も教育の発展のためにも支援をお願いしたいです。

学生間でも「土木」というフレーズはイメージしづらいですが「防災」という言葉は、日常生活でも馴染みがあります。「防災」を一つのきっかけやキーワードとして捉えることで、学生に興味を持ってもらい土木工学の学びへつなげたいです。

ICTに関する期待感やニーズはかかなり感じています。もちろん学生に対しては、就職後、ICTを使いこなせる人材になつてほしいです。しかしながら、ICT技術自体を教育するのではなく、ICT技術というツールをもちいて、技術者が現在どのように対応し、どのように現場における諸課題を解決しているのかという点に焦点をあてて教育に取り入れていきたいと考えています。

建物と設備の特色を教えてください

大学 鉄筋コンクリート造4階建て延べ3400平方メートル。1、2階が共有フロアになっています。1階はプレゼンルームなどがあり、研究発表会などが集まれる工夫がされています。2階は講義室が3部屋ありガラス張りになっており開放感があります。3、4階が教員の研究室のスペースになっており、他大学にはない特徴的な配置になっています。「教員と学生の境がない」というのをコンセプトにしてい



踊り場ラウンジ

協会側から何か意見はありますか

協会 松本学科長から「周りからの熱意をととても感じる」とありましたが、当協会も「希望」だと認識しています。現在の学生が4年後、卒業して県下で活躍することを期待しています。是非とも先生方から、地方の中小企業の魅力を発信してほしいです。

大学 ありがとうございます。土木工学科の学生は9割以上が県内から来ており、地元志向が高いです。一定程度、地元建設企業を選択する可能性があると考えています。我々も学生の意向に沿った形で後押しをしたいです。また、皆様が行う地域の企業や建設業の魅力発信のサポートは青天井でやっているので連携をお願いいたします。

協会 「防災」を全面に打ち出している大学は珍しいと思います。やはり静岡県はたいです。

大学 発注者、コンサルタント、受注者の事業に関わる全てのレベルアップが必要だと感じます。

協会 現在の土木工学科の1期生が卒業し、今後の静岡県の防災を担うことを期待しています。本日は、お忙しい中での対談ありがとうございます。



【聞き手】
静岡県建設業協会 総務・広報委員会
委員長 佐野 茂樹(青木建設 三島建設業協会)
副委員長 三尾 祐一(三与建設 富士建設業協会)
委員 松下 進一(松下組 袋井建設業協会)

協会 「土木工学科」という学科名にした理由を教えてください。

大学 他大学でも「昔前は「土木」をというフレーズを使わない学科名が増えたが、最近になって少しずつ増えているという背景があります。また、高校生にアンケートを実施したところ、男子高校生からは分かりやすくということもあり「土木」が

協会 1位という結果が出ました。加えて学科名に「土木」を入れることで、就職時に「これまでしっかりと学んできた」というアピールにもつながります。

協会 男子高校生が「土木」を選んでくれたのは業界にとっても嬉しいことです。

協会 ICT施工の時代が進んでおり、実績の現場でもドローンや建設機械など最新の設備を備えています。このため、大学側が要望するシミュレーションを全て用意できると思います。中東遠が発展するよう、地元の袋井建設業協会も最大限バックアップしていきます。

大学 学生に対し、ドローンやICT技術だけを単独で教えるのではなく、「人手不足」「危険」といった建設業が抱える課題や社会的背景も絡めて教育していきたいです。加えて、ICT技術だけに頼ると現場に足を運ばないため、実際の状況を理解しにくくなるということもセットで教えていきます。

協会 便利な時代となり、これからの入職者が丁張すら掛けられないという危機感を抱いていたが、大学側の「ICTなどの先端技術は手段の一つであり、重要なのは現場で発生する実現象をしっかりと理解し、土木工学的センスで課題解決できる技術者である」という意見を聞いて安心しました。

今回の台風15号による甚大被害が県内各地であり、我々も被災した翌日から復旧作業にあたりました。被害箇所を見ると県や市が管理する公共土木施設が大半でした。大学には発注者にも優秀な人材を送り込んでいただき、受注者との連携が上手く取れる関係づくりをお願いします。



左から佐野委員長、三尾副委員長、松下委員



掛川市上垂木鎮座
雨櫻神社
上の宮



六所神社
下の宮

今川氏の時代から現在に至る

創立年代は不明だが、鎌倉期には創立していたと伝えられ、応永年間(1394~1427)に天王(現雨櫻神社)造営について、今川氏より「下の宮」として神社の修理寄進があった。古くは六所神社(六所大明神)とは称することなく「尾崎宮」と呼ばれており、近郷小社五社を合祀して、六所神社と称するようになった。

- 御由緒**
- 塩土老翁命 しおつちおじのみこと
 - 金山彦命 かなやまひこのみこと
 - 舟玉命 ふなだまのみこと
 - 倉稲魂命 うがのみたまのみこと
 - 仁徳天皇 にとくてんのう
 - 外不詳一座 ほかふしょうのいちざい

六所神社御祭神

延喜式内社の真草(まきくさ)神社と伝えられる。鎌倉末期頃火災に罹り、付近の尾崎宮(現六所神社)に遷されたが、応永5年に現在の社地に遷座する。永正9年(1512)には今川氏親(今川義元の父)より社領75石を寄進され、江戸時代に入っても徳川家康以降の歴代将軍は、御朱印地として神社を保護した。

古来は「天櫻」と呼ばれていたが、山内一豊公の頃に雨乞いの為に和歌を詠み、桜の木に結びつけたところ、すぐに降雨となり「雨櫻」と称されるようになった。

- 雨櫻神社御祭神**
- 素佐之男命 すさのおのみこと
 - 榊稲田姫命 くしなだひめのみこと
 - 八王子命 はちおうじのみこと

中東遠の神社を訪れる 14

第14回は、掛川市上垂木にある「雨櫻神社」と「六所神社」を紹介します。この二つの神社は、とても近い場所にあり、昔、雨櫻神社の社殿が焼失の際、社殿再建まで六所神社に合祀された御礼として神輿渡御が始まったとされています。

御神木

垂木の巨杉と言われ、樹齢は千年以上だと推測される。高さ18m、幹周り4.5m、根周り6.7mの巨木で、村境や道標として昔から有名であり、天

垂木の祇園祭

明7年(1788)の古文書にも記載されている。

工事安全祈願祭

藤本山田特定建設工事 共同企業体で行う、原谷配水池改修工事の安全祈願祭を執り行っていたと

雨櫻神社から六所神社への御神幸と地域に伝わる怪談(大獅子)退治が何時しか一緒となり、現在の祭儀として始まりました。

一週間に亘るお祭りは江戸時代より盛況で、特に最終日の流鏝馬神事に、掛川藩から警固の武士が派遣されるほどの人氣があつたとされています。



ステーション
建設STATION



令和3・4年度(仮称)
城東認定こども園建設工事



掛川市大東大須賀区域認定こども園の基本理念(建園の精神)「えがおいっぱい何かを発見する園」を基に、弓状の園舎を虹になぞらえ「子どもの未来へかけ橋になる 虹のきとうこども園」をコンセプトに令和5年4月の開園に向け建設工事を完成しました。このコンセプトには「虹色の豊かな感性を育むこども園」「家庭と地域をつなぐ、虹のかけ橋となる園」などの思いも込められています。

定員 250人(0歳児 15人 1歳児 28人 2歳児 34人 3歳児 57人 4歳児 57人 5歳児 59人)



工事概要	工事名称	令和3・4年度(仮称)城東認定こども園建設工事	敷地面積	9,834.65㎡
	工事場所	静岡県掛川市下土方内	建築面積	2,751.70㎡
	発注者	社会福祉法人 大東福祉会 理事長 鳥井昌彦	延床面積	2,544.30㎡
	工期	令和3年12月29日~令和5年2月20日	地業	杭基礎 支持地盤GL-16.55m
	施工者	若杉・金田特定建設工事共同企業体	構造・段数	管理棟:鉄骨造 平屋建て一部2階 低年齢棟:鉄骨造 平屋建て 高年齢棟:鉄骨造 平屋建て
	設計・監理	(株)ヴァイスプランニング一級建築士設計事務所		

協会活動報告

令和4年11月
令和5年2月

理事会

- 11/18(金) 第7回理事会
 - 新年のつとへの開催
 - 協会活動報告(正副会長職務執行状況)
 - 袋井建設業協会事務局職員採用
 - 県協会第6回理事会の概要 ほか
- 12/15(木) 第8回理事会
 - 全連及び県協会会長表彰候補者の推薦
 - IP通信機等の導入
 - 令和4年度決算見込
 - 県協会第7回理事会の概要 ほか
- 1/24(火) 第9回理事会
 - 全中連会長表彰候補者の推薦
 - 優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者の推薦
 - 令和5年度安全祈願祭及び定時総会の日程等
 - 令和5年度会員研修
 - 働き方改革セミナーの開催 ほか
- 2/21(火) 第10回理事会
 - 令和5年度予算編成(案)
 - 建産連会長表彰候補者の推薦
 - 袋井建設業協会事務局職員採用
 - 県協会第8回理事会の概要 ほか

委員会等

- 正副会長会議
 - 11/18(金) 第7回正副会長会議
 - 第7回理事会上程議案・報告事項 ほか
 - 12/15(木) 第8回正副会長会議
 - 第8回理事会上程議案・報告事項 ほか
 - 1/24(火) 第9回正副会長会議
 - 第9回理事会上程議案・報告事項 ほか
 - 2/21(火) 第10回正副会長会議
 - 第10回理事会上程議案・報告事項 ほか

総務委員会(労務委員会)

- 1/10(火) 新年のつと
 - 【出席会員：47社 48名 来賓：5名】
- 
- 

その他の行事

- 11/10(木) 中遠農林事務所との意見交換会
 - 【出席者 中遠農林関係6名、協会17名】
- 11/10(木) 袋井土木事務所との意見交換会
 - 【出席者 袋井土木関係16名、協会16名】
- 12/7(水) 残土処分場の実態に関する県ヒアリング(袋井土木事務所)
 - 【出席者 県技術調査課他4名、協会6名】
- 12/22(木) 西部地域ライフライン関係機関連絡会議(中遠総合庁舎)【西部地域局主催】
 - 台風15号による被害状況等
- 1/10(火) 地震対策オペレーション2023
 - (大規模図上訓練)県交通基盤部主催
 - 県協会経由あつせん応諾訓練
- 2/16(木) 静岡県西部地域道路啓開検討会
 - (Web開催)【西部地域道路啓開検討会主催】
 - 今年度の取組の報告 ほか

- 2/14(火) 第3回総務委員会
 - 令和5年度予算編成(案) ほか
- 2/28(火) 働き方改革セミナー
 - 【参加者28名】
 - 建設業のための労務管理の基礎と働き方改革(働き方改革推進支援センター)
 - 派遣専門家 藤井冬仁氏

安全委員会

- 11/9(水) 第4回安全委員会
 - 活動報告、安全指導者研修
- 12/2(金) 第5回安全委員会
 - 年末官民合同建設現場安全パトロール
 - 12/2(金) 年末官民合同建設現場安全パトロール(管内全4地区8箇所)
 - 【参加者 磐田労基署4名、袋井土木1名、中遠農林1名、企業局1名、安全委員等19名 計26名】
- 広報委員会
 - 11/1(火) 静岡理工科大学土木工学科長との対談(原協会総務・広報委員会との共催)
 - 松本土木工学科長、中澤教授
 - 佐野県協会総務・広報委員長、三尾副委員長、松下委員(袋井協会広報委員長)
 - 11/4(金) 5(土) 視察研修
 - 姫路城 ほか
 - 【参加者7名】
 - 11/16(水) 第8回広報委員会
 - 会報「つちおと」第156号(12/1発行)の校正
 - 12/14(水) 第9回広報委員会
 - 会報「つちおと」第157号の編集計画

- 1/25(水) 第10回広報委員会
 - 会報「つちおと」第157号の編集
- 2/15(水) 第11回広報委員会
 - 会報「つちおと」第157号の原稿確認

土木委員会

- 12/14(水) 第7回土木委員会
 - 活動報告、令和5年度事業計画案
- 1/18(水) 第8回土木委員会
 - 活動報告、令和5年度事業計画案
- 2/20(月) 第9回土木委員会
 - 令和5年度事業計画

建築委員会

- 11/28(月) 現場見学会
 - 磐田南高等学校校舎棟新築工事、今之浦市有地屋根付広場
 - 【参加者6名】



環境・災害対策委員会

- 11/1(火) 西部地域熱集合施設運営講習
 - (中遠総合庁舎)【西部家畜保健衛生所主催】
 - 【参加者6名】
- 

ちょっとした話

by M.S

その16なげ胡麻(ごま)をみると表現するの??

上の人に一生懸命へこへこするあの姿は、なぜ「ごまをする」と言われるのでしょうか。あの言葉は、胡麻をすり鉢ですると、あちこちにべたべたつく様子を示しているんです。「色んな人にべたべたとくっつく」胡麻をする」ということだったんですね。

その17銀座の元祖は東京にあらず!

地方都市の繁華街によくある「○○銀座」。もちろん東京の銀座から取られたものですが、実は元祖銀座は東京ではなく、京都に作られたのです。元々銀座とは江戸時代に銀貨が製造されたところ。1601年、京都の伏見に最初の銀座が作られました。東京の銀座は1612年からなので、京都の方がかなり早かったのです。

銀座

その18ペンギンは実は寒がりだった!?

氷に囲まれた極寒の地でもへっちゃらに見えるペンギン。しかしその昔、ペンギンは温暖な地域で暮らしていたのだとか。餌を獲るため冷たい深海に潜るうち、寒さへの耐性(たいせい)がついたそう。暖かい地域が快適なのはどの動物も同じ。たとえ寒くても天敵が少ない場所は、動きの鈍いペンギンにとっては好都合なのだそう。



- 1/19(木) 監理技術者講習
 - 【受講者24名】



- 12/9(金) 道路啓開に係る意見交換会
 - 【西部地域道路啓開検討会主催】【参加者17名】
 - 広域受援計画、道路啓開計画の説明(情報伝達訓練)



- 11/9(水) 西部地域道路啓開実動訓練
 - (新都市民サービスセンター)【西部地域道路啓開検討会主催】
 - 【参加者2名】



安全の道しるべ



年末の官民合同パトロール

- 実施日 令和4年12月2日(金)
- 実施箇所 管内4地区 延べ8現場
- 参加者 26名 磐田労働基準監督署 4名、袋井土木 1名、中遠農林 1名、企業局 1名、建災防袋井分会 19名



参加者集合写真



パトロール



監督署署長あいさつ



会長あいさつ

建災防静岡県支部 令和4年度安全指導者研修会

- 実施日 令和4年12月8日(木)
- 会場 あざれあ6・7階ホール
- 参加者 63名(内袋井より6名)



特別講演

これい〜ねっ!



発電機周りに防音シートを設置し、地域住民への配慮がなされている。



敷鉄板が隙間や段差無く設置されており、ずれ防止処置もなされている。



昇降階段の設備がしっかりされている。

すぐ直そう!



キンクしたワイヤーは使用しない。(安衛則第174条)



日をまたいで作業を行う箇所は、コーンバーだけではなく、しっかりとした仮設での立入禁止措置を行うこと。(公衆災害防止対策要綱)



作業敷鉄板の角が浮いているので、転倒防止処置を行うこと。(安衛則第540条)

受講者募集!!

技能講習・特別教育その他安全関係講習会 会場:袋井建設業会館大会議室

刈払機取扱い作業者に対する安全衛生教育 4月20日(木)	足場の組立て等の業務に係る特別教育 4月25日(火)	職長・安全衛生責任者教育(リスクアセスメント含む) 5月9日(火)~10日(水)
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育[全コース] 5月18日(木)	建設業等における熱中症予防指導員・管理者研修 5月19日(金)	職長・安全衛生責任者 能力向上教育 5月25日(木)
足場の組立て等の作業主任者技能講習 6月6日(火)~7日(水)	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 6月13日(火)~14日(水)	地山の掘削および土止め支保工作業主任者技能講習 6月20日(火)~22日(木)

※申込用紙は4月3日(月)から協会窓口で受講希望者に配布します。但し、郵送希望の場合は、所定用紙(袋井建協HP掲載)により事務局に依頼のこと。

詳細は「袋井建設業協会HP」をご確認ください。URL <https://www.fukuroi-kenkyo.or.jp>
お問い合わせは 袋井建設業協会(建災防 袋井分会) TEL0538-42-4338/FAX0538-42-4330

【参考】建設業労働災害防止協会静岡県支部HP URL <http://www.kensaibou-shizuoka.jp>